

心が寒くなった時は、拳をにぎりしめて…春は近いですよ。

※書籍右横の番号はセンターでの検索番号です。



女帝のいた時代

2015年 自由国民社

つげ のり子 (著)

[100-4]

長年、皇室番組を担当してきた放送作家が、「女子力」の日本における発祥を歴代の女性天皇に求めて、彼女たちの人生をつぶさに見た。

壮絶な苦悩や葛藤とともに、実は女性としての想いを貫こうと、運命に挑んだ力強い実像が同時に浮かんでくるという。

8人の女性天皇の即位の経緯や逸話が現代的な比喩も用いて描かれていて分かりやすい。

「自分の生き方の壁」を乗り越えた彼女たちからの力強いメッセージがあなたに届きますように。(ルナ)



ちいさなジェンダー

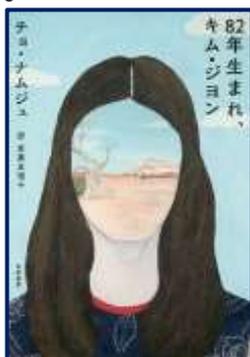
2012年 ほおずき書籍

段 丹映子 (著)

[400-3]

著者は、4コマ漫画「ちいさなジェンダー」を長野県で発行されている新聞折り込み情報紙にて連載。また全国の男女共同参画センター等で講演も行っています。「ジェンダー」という言葉をまだ知らない方にも、身近な例で分かりやすく伝えています。「男らしさ、女らしさ」の言葉に隠された社会的・文化的な役割「ジェンダー」の存在がひしひしと伝わってきます。

「こんなことあるある」と各コマを楽しみ、さらにもう一歩進めて、世代間で異なるジェンダー意識について考えてみませんか。(かかし)



82年生まれ、キム・ジョン

2018年 筑摩書房

チヨ・ナムジュ (著)
斎藤 真理子 (訳)

[1200-2]

育児の日常になげかけられた「育児中の女性への無理解な言葉」をきっかけに、精神の変調をきたす女性のものごと。

少しずつしか変わらない社会意識のなかで、兄弟の学費を助けるために働き、結婚すれば家事から姑の世話までした実母のようにもう生きられない82年生まれの大卒女性。学歴や働きたい気持ちは、活かされる場がなくもがく。当たり前のように思っている社会の慣習に合わせて必死で頑張れば、同じ立場の女性の同僚を苦しめることになるのか。(ぽっと)



淳子のでっぺん

2017年 幻冬舎

唯川 恵 (著)

[1200-2]

男女差別が根強く残る時代に多くの困難を乗り越え、女性として世界初のエベレスト登頂に成功した登山家淳子。彼女は降り積もる雪のなかを「今はこの一歩を進めることだけに集中する、そして夢に向かう次の一歩をあきらめない」と、ひたすら前進を続け、ついに世界最高峰の頂上に立った。8848m、祝福するように輝く山々。視界の向こうに見えたものは…。「淳子のでっぺんはここだよ、必ず俺のところに帰って来るんだ」。病に侵されてもなお、夫と共に歩を進める終章。陽ざしに包まれた二人の姿が見えるよう。(みっと)